Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：商業販売統計(2008年11月)　　発表日2008年12月26日(金)

～単月では改善も、基調は弱含み～

第一生命経済研究所　経済調査部
担当　主任エコノミスト　新家 義貴
ＴＥＬ：03-5221-4528

（単位：%）

		商業販売額		卸売業		小売業		大型小売店		百貨店	スーパー	コンビニ販売額	
		前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	既存店前年比	既存店前年比	既存店前年比	前年比	既存店前年比
07	1月	2.2	0.7	3.3	1.1	▲ 0.9	0.6	0.6	▲ 0.5	0.0	▲ 0.9	1.7	▲ 0.7
	2月	3.0	1.9	3.9	1.6	▲ 0.2	0.7	1.5	0.5	1.5	▲ 0.1	1.3	▲ 1.1
	3月	1.3	▲ 3.0	1.9	▲ 4.4	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 0.8	0.9	▲ 1.4
	4月	4.3	3.4	5.8	5.4	▲ 0.7	0.3	▲ 0.7	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 2.0	1.6	▲ 0.6
	5月	5.9	1.8	7.7	2.2	0.1	0.3	0.3	▲ 0.8	▲ 0.7	▲ 0.9	1.7	▲ 0.6
	6月	4.1	▲ 0.7	5.4	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.3	1.9	0.9	5.1	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 4.2
	7月	4.0	▲ 0.9	5.9	▲ 0.6	▲ 2.3	▲ 1.9	▲ 2.5	▲ 3.8	▲ 4.4	▲ 3.4	2.1	▲ 0.2
	8月	3.0	0.9	3.8	0.3	0.5	3.0	1.7	▲ 0.1	1.1	▲ 0.8	2.1	▲ 0.2
	9月	1.1	▲ 1.3	1.2	▲ 1.9	0.5	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 2.0	▲ 2.7	▲ 1.5	2.1	0.0
	10月	4.4	2.0	5.4	2.7	0.8	0.4	▲ 0.1	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 1.8	0.9	▲ 1.2
	11月	4.1	▲ 0.3	4.8	▲ 0.4	1.6	0.1	1.9	0.4	0.8	0.1	1.7	▲ 0.6
	12月	2.2	▲ 0.5	2.8	▲ 0.3	0.2	▲ 0.7	▲ 0.4	▲ 1.5	▲ 2.2	▲ 1.0	0.6	▲ 1.3
08	1月	3.7	0.6	4.5	0.8	1.3	0.8	▲ 0.8	▲ 2.0	▲ 2.1	▲ 2.0	0.1	▲ 1.6
	2月	5.6	▲ 0.2	6.3	▲ 0.4	3.2	▲ 0.9	2.7	1.2	1.0	1.4	3.4	▲ 0.5
	3月	1.5	▲ 2.4	1.7	▲ 4.0	1.0	0.4	1.8	0.2	▲ 1.2	1.3	1.2	▲ 0.6
	4月	4.3	4.5	5.6	7.2	0.1	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 2.2	▲ 3.4	▲ 1.5	1.4	▲ 0.2
	5月	3.8	2.9	4.8	3.6	0.3	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 2.0	▲ 2.5	▲ 1.7	5.1	3.5
	6月	4.0	▲ 1.2	5.0	▲ 1.7	0.3	0.0	▲ 2.6	▲ 4.0	▲ 7.3	▲ 1.7	5.7	4.0
	7月	9.0	3.0	11.0	3.8	2.0	0.1	0.3	▲ 0.7	▲ 2.3	0.5	13.3	11.5
	8月	2.9	▲ 2.5	3.5	▲ 3.3	0.7	0.7	▲ 1.0	▲ 2.2	▲ 2.9	▲ 1.8	6.7	5.1
	9月	3.3	▲ 4.0	4.2	▲ 5.4	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 2.1	▲ 3.3	▲ 4.6	▲ 2.5	7.5	6.4
	10月	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 1.2	▲ 0.4	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 2.9	▲ 4.3	▲ 6.9	▲ 2.6	9.8	7.9
	11月	▲ 8.4	▲ 5.5	▲ 10.5	▲ 7.0	▲ 0.9	▲ 0.1	▲ 1.8	▲ 3.2	▲ 6.4	▲ 0.8	9.1	7.2

（出所）　経済産業省「商業販売統計」

○ 単月では上振れ

11 月の小売業販売額は前年比▲0.9%（10 月同▲0.7%）と３ヶ月連続で減少した。季節調整値では前月比▲0.1%である。もっとも、ガソリン価格下落に伴い燃料小売業の売上が減少したことによって押し下げられている面もあり、物価の影響を考慮した実質ベース（当社試算）でみると前年比▲2.2%と 10 月の同▲3.5%からマイナス幅が縮小、季節調整済前月比では＋1.2%となる。予想対比でやや強めの結果と言えるだろう。

もっとも、11 月は土日・祝日が昨年に比べて３日多かったことから外出機会が増えたことが押し上げに寄与している可能性があり、この結果は多少割り引いて考える必要があるだろう。また、雇用環境の悪化や賃金の減少といった悪材料があることに加え、景気の先行き不安がこのところ急速に強まっており、家計の支出意欲が冷え込んでいることを考えると、単月の上振れを過度に重視すべきではないだろう。景気ウォッチャー調査のコメントなどからも、家計の節約モードが一段と強まっていることが読み取れる。消費は先行きも低調な推移が続くと予想される。

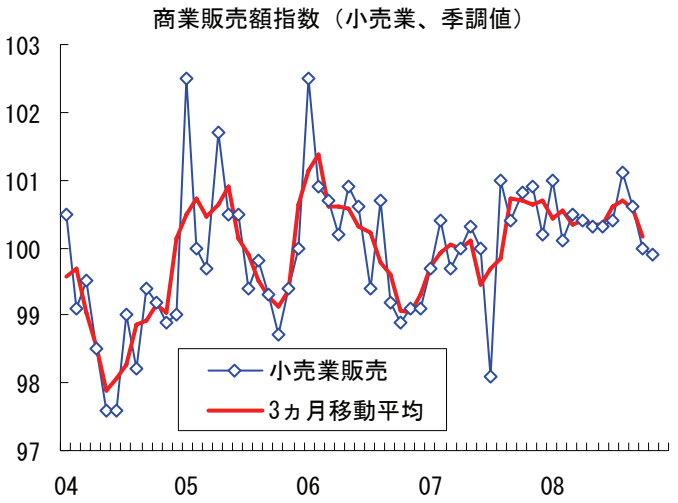
○ 業種別の推移

小売業販売額（名目）を業種別にみると、プラスになったのは飲食料品小売業（前年比＋4.7%）、織

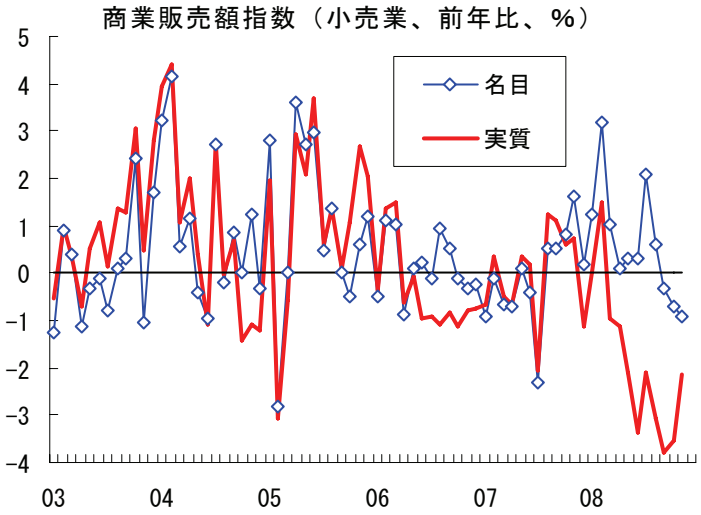
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

物・衣服・身の回り品小売業（同＋0.7%）、機械器具小売業（同＋1.0%）だった。このうち、飲食料品小売業については、価格上昇によって押し上げられている側面が強いことに加え、このところの節約モードの強まりから外食を手控えて家で食事をする世帯が増えていることが影響していると考えられ、プラスの評価はできない。織物・衣服・身の回り品小売業については、休日が多かったことが押し上げ要因になったとみられるほか、月の後半に気温が低下したことが冬物衣料の購入を促した面もあるだろう。機械器具小売業は、プラスではあるものの、北京五輪関連需要によって好調だった８月までの勢いはなく、基調としては弱含んでいる。年末商戦におけるデジタル家電製品の売れ行きも今のところ低調とのことである。

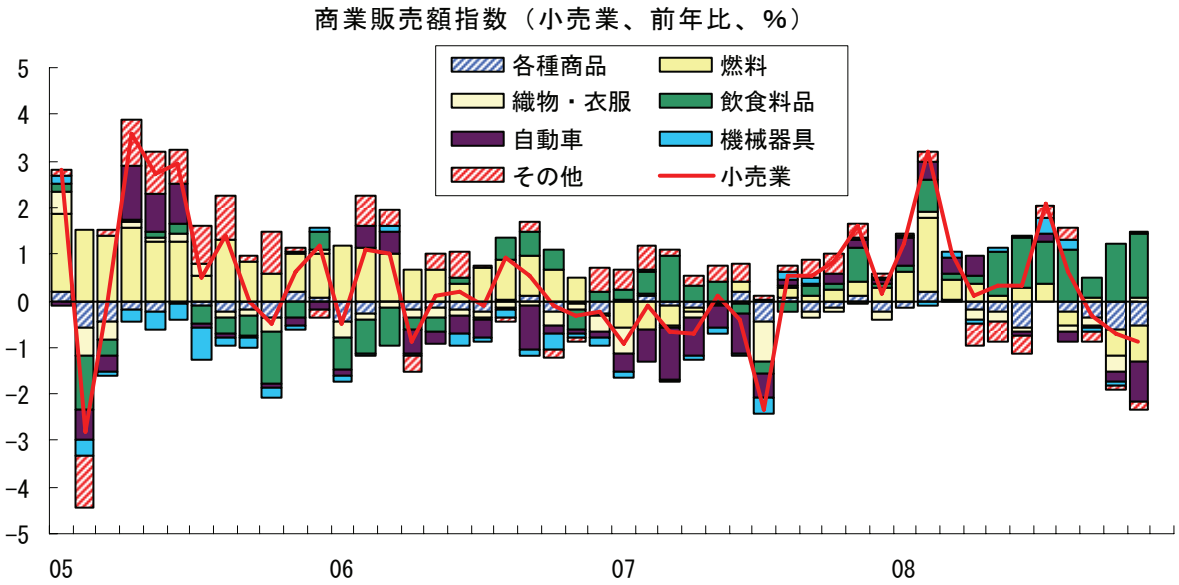
その他の業種をみると、夏場まで大幅な上昇が続いていた燃料小売業は同▲7.2%と、ガソリン価格の下落に伴い大幅に減少している。また、自動車小売業は同▲7.6%とマイナスだった。大きなマイナスではあるものの、２割程度落ち込んだ業界統計と比較すると上振れている印象を受けるため、来月反動が出る可能性がある。



出所：経済産業省「商業販売統計」

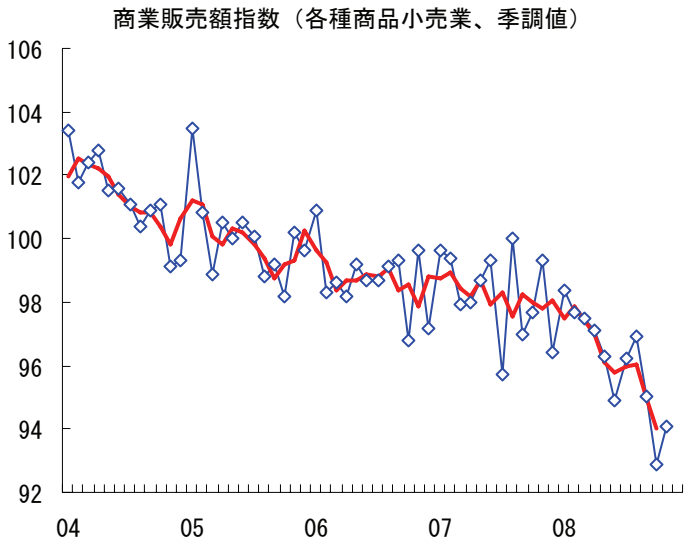


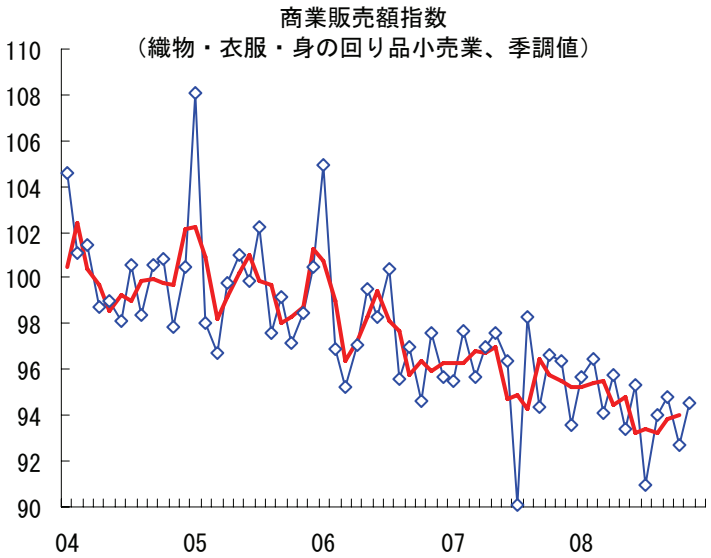
出所：経済産業省「商業販売統計」

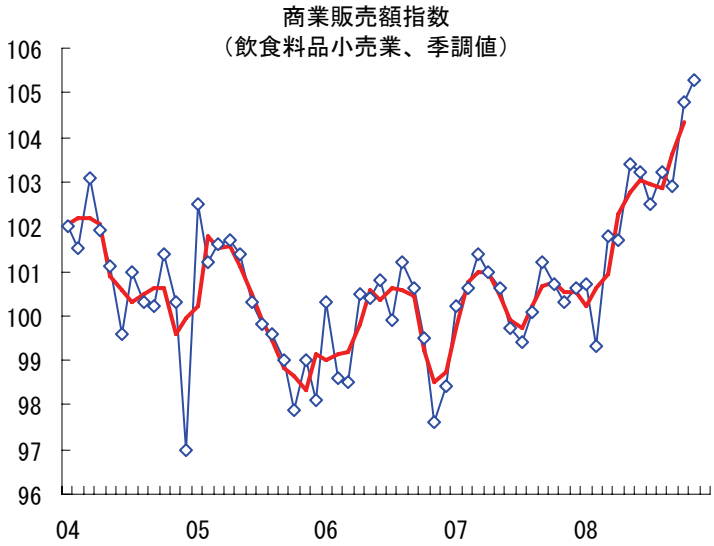


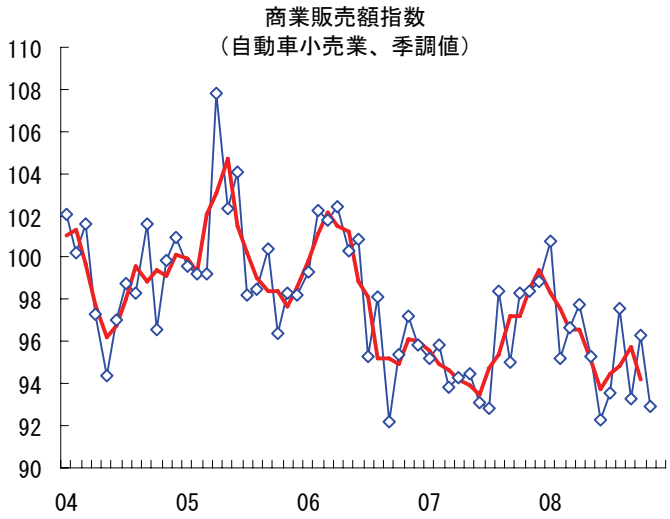
出所：経済産業省「商業販売統計」

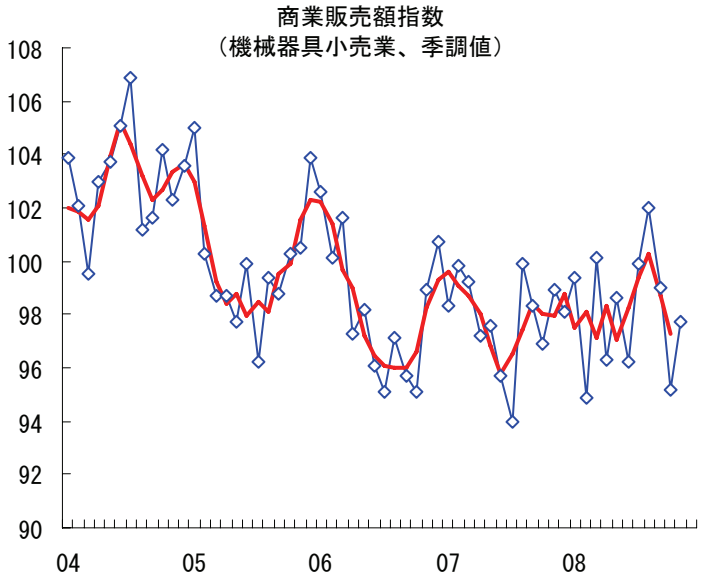
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

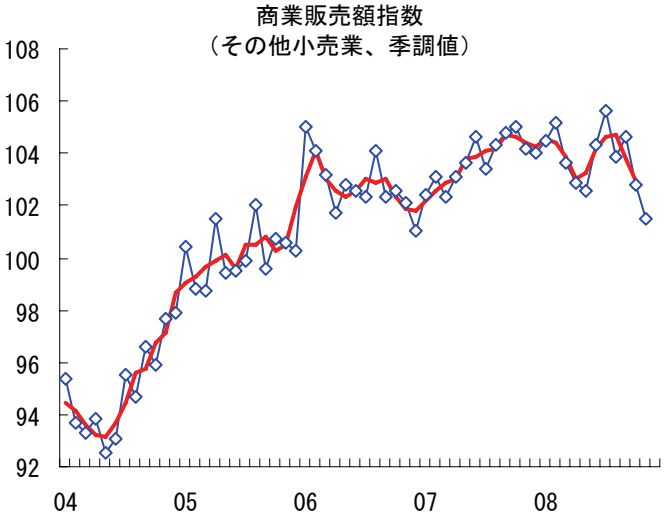












本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。